

平成 22 年度 地球温暖化対策実行計画報告書（温室効果ガス排出量調査） ダイジェスト版

平成 22 年度における、本町の事務・事業から排出される二酸化炭素排出量は、

946, 241 kg-CO₂ でした。

平成 22 年度における、本町の事務・事業から排出される二酸化炭素排出量は、基準年度と比べ、**4.7%増加**しました。

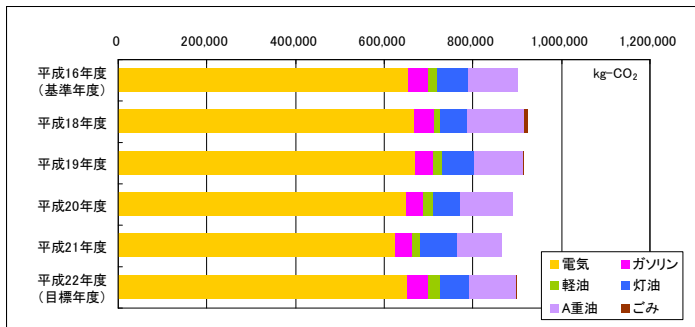


図 1 二酸化炭素排出量の推移

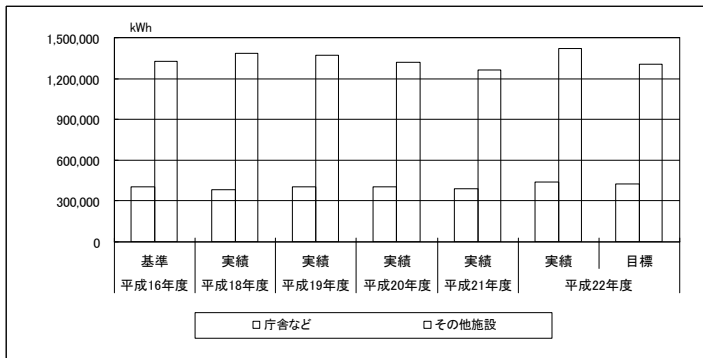


図 2 電気使用量の推移

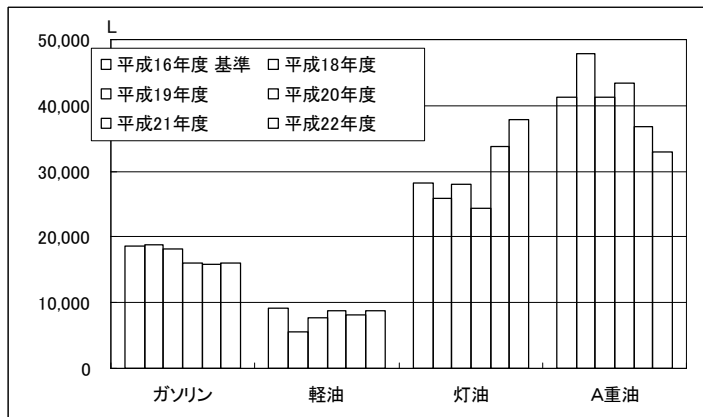


図 3 各種燃料使用量の推移

図 1 に示すように、平成 22 年度は基準年と比較して、**電気の使用量は 7.4%増加**し、**灯油の使用量は 33.9%も増加**しています。平成 20、21 年度は二酸化炭素排出量を順調に削減できていましたが、平成 22 年度は目標を達成できませんでした。

温室効果ガス排出量は、気象状況や施設の利用状況に大きく左右されるため、町民の皆様へのサービスを低下させずに削減することは容易なことではありませんが、二酸化炭素排出量の約 7 割を占める電気について更なる削減を目指し、取り組んでいきます。

なお、算定にあたっては計画の実施状況や評価を行うため、計画策定時点の施行令で定められていた排出係数を用いて二酸化炭素排出量を算定しています。

参考として、平成 18 年 3 月に見直された、「地球温暖化対策の推進に関する法律施行令第 3 条に基づく二酸化炭素排出量の算定に用いる排出係数」による排出量は 877,492 kg-CO₂ であり、基準年度と比較すると 3%の削減となりました。